

大工大通信 およど

OIT Website ▶ <http://www.oit.ac.jp>

みらいをつくる つたえる まもる。
大阪工業大学
OSAKA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

編集・発行/学生部学生課

〒535-8585 大阪市旭区大宮5-16-1

E-mail: OIT.Gakusei@joshu.ac.jp

Tel: 06-6954-4651 Fax: 06-6951-7760

およどWebsite (本号をはじめバックナンバーをアップ)
<http://www.oit.ac.jp/japanese/public/magazine.html>

大阪工業大学通信

およど No.251

2016年7月

常翔学園3大学体育会 課外活動団体交流戦

CONTENTS

- P2~3 大学院進学のおすすめ
- P4 「熊本地震義援金」へのご協力ありがとうございました!
- P5 キャンパスにグローバルな風
— 香港とタイから情報科学部に短期留学生受け入れ —
- P6 旭区ボランティア・市民活動センター
オープニングセレモニーで建築文化研究部が感謝状を授与
- P7 学園3大学体育会交流戦を実施
- P8 外国人留学生歓迎会を開催

大阪工業大学
陸上競技部

大学院
進学のおすすめ



「大学院」について考えてみよう

皆さんは卒業後の進路について、真剣に考えたことがありますか？

“就職活動はまだ先だから…” “就職するか進学するか迷っている…” などさまざまだと思います。

自分がめざす将来像に一步でも近づくために、今のうちから将来の自分をイメージすることはとても大切。

今回は卒業後の進路で疑問が多い「大学院」についてまとめました。

1 大学院ってどんなところ？

近年の科学技術が著しく進歩しているのは、既にご存じでしょう。それだけに今、社会はより高い専門知識や技術を持つ人材を強く求めており、その役割を担う大学院は、学部で学んだ基礎をもとに各自の専門分野の高度な知識や技術を身に着ける場所。卒業研究よりも深く掘り下げて研究を行うので、高度な専門知識や技術を

修得するほか、自分で計画を立てて研究を進めたり、学会発表を行うことで「自ら考えて行動する力」が養えます。何より「研究（探究）する楽しさ」は大学院における醍醐味と言えます。研究室の見学や質問などを先生や先輩学生に気軽にたずねてみてください。

2 大学院へ進学したいけれど、経済的な負担が心配・・・

奨学金制度を利用することで、経済的な負担を大きく軽減することができます。本学には、大学独自の奨学金制度のほか、日本学生支援機構奨学金をはじめとする学外の奨学団体まで、さまざまな奨学金制度があり、大学院生の皆さんをバックアップしています。

また、大学院進学を希望する学部生を対象に、学部在学中に奨学生の募集・選考を行い、早期に採用内定を決定する制度もあります。詳しくは学生課・情報科学部事務室にご相談ください。

■ 主な奨学金制度

大学院学内奨学金 (2016年度入学生対象の実績)

対象	区分	奨学金の種類	金額	人数	期間
工学研究科 情報科学研究科	給付	学内一般奨学金・テラサキ奨学金	年間授業料の半額	在籍者数の1/3以内 (学内奨学生の合計)	1年間 (再出願可)
		特待奨学金*	年間授業料の全額		標準修業年限
知的財産研究科	給付	学内一般奨学金	年間授業料(教育充実費含む)の1/3	在籍者数の1/2以内 (学内奨学生の合計)	1年間 (再出願可)
		特待奨学金*	年間授業料(教育充実費含む)の全額		標準修業年限

* 特待奨学金については、各専攻からの推薦により選考・採用します。

日本学生支援機構奨学金 (2016年度の実績)

対象	区分	奨学金の種類	金額	期間
全研究科	貸与	第一種奨学金 <無利子>	(月額) 博士前期課程 5万・8.8万円 博士後期課程 8万・12.2万円 専門職学位課程 5万・8.8万円 より選択可(貸与期間中の月額変更可)	標準修業年限
		第二種奨学金 <有利子>	(月額) 5・8・10・13・15万円 より選択可(貸与期間中の月額変更可)	
		入学時特別増額 貸与奨学金 <有利子>	10・20・30・40・50万円より選択可	初回交付時に基本月額に増額

採用スケジュール(2016年度入学生対象の実績)

区分	対象	奨学金の種類	3年			4年			院1年							
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	6月	7月	10月	11月	1月	4月	5月	6月
工・情 知	工・情	特待奨学金														
給付	工・情	学内一般奨学金・テラサキ奨学金														
知	知	学内一般奨学金														
貸与	全研究科	日本学生支援機構														

※知的財産研究科への早期進学者対象を示します。

注)テラサキ奨学金は、定期採用のみ実施

「学内一般奨学金」、「日本学生支援機構」は、出願機会が2回あります。〔早期または予約〕と定期。

■ 研究活動奨励金制度

大学院生の研究活動を奨励するため、学会などで研究発表を行う場合、申請によって旅費などの一部が支給される制度です(年間5万円を限度に交付)。また、学会での研究発表推進のため、海外での国際会議で研究発表する大学院生に、審査のうえ経費の一部を援助しています。

■ TA(ティーチング・アシスタント)制度

大学教育の充実と大学院生の教育トレーニングの機会提供を目的とする制度です。所定の給与を支給することにより、大学院生の経済的支援を行っています。学部の授業科目のうち実験・実習または演習の補助に従事し、指導や教育方法を学ぶことを積極的に推し進めています。

3 大学院生は、就職活動で有利になるの？

社会や産業界は、より高度な学識や技術力を持つ人材を強く求めているため、大学院生には多くの企業から求人があります。なかには、採用者の多くを大学院修了者が占めるといった大手企業もあります。専門性が高く、培った経験や知識・技術の積み重ねがあるため、高齢になっても働け、大学院修了者には高額所得者が多いという傾向もあります。

■ 主な就職先（過去3年間）

工学研究科

京セラ(株)、清水建設(株)、大成建設(株)、凸版印刷(株)、西日本旅客鉄道(株)、パナソニック(株)、(株)日立製作所、本田技研工業(株)、三菱電機(株)、ライオン(株)

情報科学研究科

(株)インターネットイニシアティブ、NECソリューションイノベータ(株)、京セラ(株)、京セラドキュメントソリューションズ(株)、(株)スクウェア・エニックス、ソフトバンク(株)、日垂化学工業(株)、(株)日本総合研究所、ルネサスエレクトロニクス(株)、ローム(株)

知的財産研究科

倉敷紡績(株)、(株)ジャパンドディスプレイ、日本電産(株)、日本郵便(株)、ビップ(株)、ローム(株)、北浜国際特許事務所、ザック国際特許事務所、原謙三国際特許事務所、北斗特許事務所

各研究科で活躍する 大学院生から皆さんへ

本学では高度な研究の場で、

多くの大学院生が専門性を培っています。

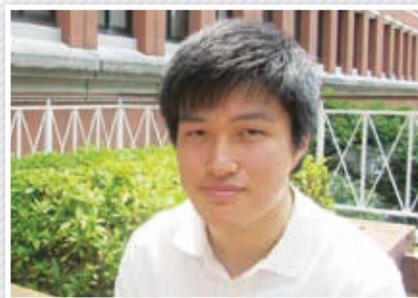
現役大学院生に、大学院に進学した理由や現在の学びについて語ってもらいました。



佐々木 祥太 さん 工学研究科
電気電子工学専攻
博士前期課程 2年次



山添 優紀 さん 情報科学研究科
情報科学専攻
博士前期課程 2年次



渡邊 裕太 さん 知的財産研究科
知的財産専攻
専門職学位課程 2年次

内定先 三菱電機(株)

私が大学院進学を決めたのは学部3年次の夏でした。国際PBLやインターンシップなどに参加しましたが納得いく成果を収めることができず、進学してもっと実力をつけてからでも社会に出るのは遅くないと感じたためです。

大学院進学後はスマートフォンやディスプレイ機器に使用されているような電子デバイスをインクジェット印刷など身近な印刷技術を用いて簡単かつ低コストに作製するための研究を行っています。大学院の魅力は研究に費やせる時間が多いことだと思います。私自身も大学院に進学したことで研究を通してうまくいかないことや失敗を多く経験し、学業面だけでなく精神的な面でも成長できたと思います。また、他の研究機関の方々の議論を通して知識の幅を広げたり、学会発表の機会にも恵まれ、賞をいただくことができたりと、自身の成長を感じることができました。

将来はこの研究活動を通して身に着けた力と、国際PBLや短期研究留学での経験をうまく活かすことで国内外問わず活躍できるエンジニアになりたいと思います。

内定先 (株)インターネットイニシアティブ

大学院への進学のきっかけは、就職活動時のグループワークでした。

チームのメンバーはどんどん作業を進める中、自分が4年間学んできた専門分野であるネットワークについて、ほとんど議論に参加できず悔しい思いをしました。

そこで、大学院で一から学びなおそうと思い、進学を決意しました。大学院ではより専門性の高い授業が行われ、授業についていくために予習・復習を行うことで知識が基礎からしっかりと身に付きます。さらに、学部時代は受け身な学び方でしたが大学院の専門的な講義が楽しく、もっと学びたいと思い、主体的に学ぶようになりました。今では、毎日参考書を読み漁る日々を送っています。研究は学会や研究会で発表することで、様々な方との交流により研究が深まります。何より、大勢の人前で発表することにより、度胸や自信を持つことができました。

私には夢があります。それは、今や我々の生活に欠かせないネットワークというインフラを支えることで、世の中の仕事の効率化を図り、日本のGDPを底上げしたいというものです。そのために日々勉学に励み、将来的に同業他社の中で認められる存在になりたいです。

内定先 アイシン・エイ・ダブリュ(株)

私が専門職大学院へ進学した理由は、弁理士資格を取得するために、知的財産について学部よりさらに広く深く勉強したいと考えたからです。また、特定の単位を取得し特許庁の審査に通れば大学院修了後、弁理士試験の一部免除を受けることができる制度も魅力的だと思い、進学を決めました。

大学院では学部で学んだことを基に、さらに掘り下げた内容の講義が行われるので、予習・復習が欠かせません。法律についての講義だけでなく、実務スキルを身につけるための講義も多くあります。将来どんな仕事をしたいか等の目標を定め、そのためにはどのような勉強をすべきかを明確にすることが大切です。

私は現在、修士論文発表に向け、職務発明について研究をしています。職務発明とは、企業や法人において従業者が行った発明です。企業内における職務発明規定について研究し、より良い職務発明規定を提案したいと考えています。

将来は、大学院で学んだことを生かして、知的財産を保護・活用し、産業界に貢献したいと考えています。

「熊本地震義援金」へのご協力ありがとうございました!



4月14日に発生した熊本地震で被害を受けた被災地のために、大宮・枚方のボランティア団体を中心にクラブ生の有志が立ち上がり、4月20日～28日の約1週間、復興のための募金活動を行いました。キャンパス内や千林大宮駅周辺でも呼びかけを行い、両キャンパスで221,161円の義援金が集まりました。

皆さんから寄せられた義援金は、5月11日、学生有志を代表して今回の募金活動の発起人となった文化会ボランティア教育研究会部長の木村俊元君(R3)と体育会本部長の今井勝彦君(R4)の2名で熊本県大阪事務所を訪れ、吉永所長に手渡しました。吉永所長からは「熊本は今も余震が続き不安な思いをしています。また、本当に支援が必要なのはこれから先、熊本の状況が報道されなくなってからだと思っています。そんな中、皆さんのような若い力を非常に心強く感じます。」と労いの言葉をいただきました。

募金活動にご協力いただいた教職員、学生の皆さんご協力誠にありがとうございました!

「ロボカップジャパンオープン 2016愛知」2連覇!

3月25日～27日、愛知工業大学(愛知県豊田市)を舞台に開催された「ロボカップジャパンオープン2016愛知」に工学部と情報科学部の学生合同チーム「O.I.T. Trial」が出場し、「ロボカップ@ホーム」部門で見事2年連続優勝の快挙を成し遂げました。

この部門は日常生活の場所で、ロボットがいかに役に立ち、人間と共に暮らしていけるのか?という可能性を探る競技です。工学部のロボット「ASAHI」と情報科学部のロボット「昴」の2体は、困っているおばあさんを助ける生活支援の技術や、複雑な対話内容を理解し、ロボットがそれに応じた行動ができるかなど4つのタスクを競い合いました。

今後の本学チームのさらなる活躍と、連勝記録にも注目していきましょう!

初日(25日)の「Navigation Test」では参加11チーム中唯一複数のポイントをクリア



「第28回 知能ロボット コンテスト2016」初優勝!

6月18日、19日、仙台市科学館(宮城県仙台市)において開催された「第28回知能ロボットコンテスト」に、工学部ロボット工学科の生活支援ロボットシステム研究室から1チーム「O.I.T. ASURA Zero」が出場しました。マスターズコースで念願の初優勝および、もっとも優れたロボットに贈られる最優秀技術賞を受賞し、知能ロボコンを完全制覇しました。



マスターズコース 優勝ロボット

「常翔歴史館企画展・特別講演会」を開催しています。

7月1日～31日まで、常翔歴史館で学園各学校のラグビー部のあゆみを取り上げた企画展・特別講演会を開催しています。

常設展示室で開催する企画展「学園ラグビーの軌跡をたどって」では、強豪校として全国に知られる常翔学園高等学校(全国高等学校ラグビーフットボール大会で5回優勝)、常翔啓光学園高等学校(同大会で7回優勝)のほか、大阪工業大学、摂南大学の各ラグビー部の栄光や学園が誇るラグビーたちの熱き想い、軌跡などを紹介します。

7月30日には「常翔学園と日本のラグビー、その将来」をテーマに、京都産業大学ラグビー部ヘッドコーチ元木由記雄氏(工大高OB、元ラグビー日本代表)を講師に招いた特別講演会をOITホールで開催。第2部では、ラグビージャーナリストの村上晃一氏に司会・進行役を務めていただき、元木氏と学園各学校ラグビー部監督・コーチとのパネルトークを開催します。

申し込み方法等については常翔歴史館ホームページをご覧ください。
(<http://www.josho.ac.jp/ayumi/>)





キャンパスにグローバルな風 -香港とタイから学生が短期留学などで情報科学部に-

5月末から6月にかけて、情報科学部に海外の2カ国から学生が訪問し、日本人学生たちと授業・研究を共にして、キャンパスは国際的な雰囲気に包まれました。

まず5月末、香港城市大学から4人の学生が短期留学生として来日。この制度は2004年度から13年にわたり相互の大学の交流が続いている伝統ある交換留学です。学生たちは情報メディアに関連する科目などを2週間にわたり、本学で授業を体験しました。このあと、情報科学部の日本人学生3人が8月末から香港城市大学での短期留学に挑みます。

つづいて6月2日にはタイ・タマサート大からの学生10人と教員3人が来学しました。日本人学生・教員と共同で、画像処理・画像認識などの課題に取り組む国際PBLに参加しました。本学部での国際PBLは今年で3回目ですが、タイから来日するのは初めてのことで。学生たちは約1週間の研究を通して、相互理解・技術交流を深めたようです。また、国際PBLについても今後、本学部学生がタイと韓国を訪問して共同研究を進める予定です。



メディア関連の授業に取り組む香港城市大学の学生たち



国際PBLに取り組んだタイ・タマサート大の学生たち



国際PBLでの歓迎パーティーでは日本人学生との交流がすすみました



伝統の学内レガッタを開催!!

5月28日、漕艇部主催「第54回学長杯争奪学内レガッタ」が開催され、研究室やクラブ生をはじめ57人(16チーム)の学生・教職員が参加しました。

初出場の学生は、初めて乗るレガッタを楽しそうに漕ぎ、艇から降りた後も興奮冷めやらぬ様子でした。大会では、漕艇部員も驚く好タイムが飛び出すなど、例年にも増して熱戦が繰り広げられました。優勝したのは、「クワハラ研対校フォア」、2位には「レガが小屋った」3位には「女子力高めにキャッチソー」の学生チームが入賞しました。

学生たちにとって普段触れることのないレガッタを体験する貴重な場となり、競技を通じて、学生と教職員との絆も強くなる、大変思い出深いイベントとなりました。



優勝クルーの「クワハラ研対校フォア」チーム

心理学 アラカルト

幸せへの扉

カウンセラー 大谷 真弓

長年、心理学の講義を担当してきましたが、この1~2年で急に「アドラー心理学って何ですか?」「アドラー心理学をどう思いますか?」という質問を受けるようになりました。心理学に興味をお持ちの皆さんは、もうお分かりだと思いますが、哲学者岸見一郎氏による「嫌われる勇氣 自己啓発の源流「アドラー」の教え」が数年前に出版されてベストセラーになっていますよね。続編「幸せになる勇氣」も人気だそうです。

「幸せになるのに勇氣がいるの!?!」「勇氣を出してまで嫌われた方がいいの?」題名だけでも、何だか興味をひかれませんか?これらの本では、悩み多き青年が哲人を訪ね、質問を投げかけるとい対話形式で物語が展開していきます。哲人の言葉を一つだけご紹介。「あなたが変わらないのは、自らに対して『変わらない』という決心を下しているからなのです」(「嫌われる勇氣」p51)この言葉に反発を感じた人も、興味を持った人も、青年と一緒に岸見流アドラー心理学の扉を開けてみませんか。思いがけない未来の自分に出会えるかもしれませんよ。

カウンセラーの ひとひ言

第一印象のこと

カウンセラー 大西 見也子

入学式や進級から少し時間が経ち、いろいろな人との関係が出来たりできなかったりしている頃でしょうか?じつは私、カウンセラーという仕事をしていますが、昔から人見知りな時期が一番苦手でした。周りは少しずつ友だちグループができ始める中、いつまでもとけ込めず一人ぼっちで寂しい思いをしたのを覚えています。当時の私の第一印象は「ツンとして近寄り難い人」でした。そんな私でも、いつの間にか時間が経つうちに、おしゃべりしたりお弁当をいっしょに食べる人が傍らにでき、気がつけば数十年の付き合いになっているから人間関係は不思議だと感じます。出会った頃のお互いの第一印象は悪い方だったにもかかわらず、だからこそ何でもない一言や振る舞いに「あれっ?!こんなイイ人だっけ?」と思ったことを互いに後から答え合せて発見しました。もしも第一印象が良過ぎたら、同じ振る舞いでも当たり前にか受け取られず、その後の人間関係にはつながらなかったかもしれません。それから私は人によく見られようと頑張らなくなりましたが、久しぶりにふと第一印象のことを思い出しました。みなさんはいかがですか?

オープニングセレモニーで建築文化研究部が感謝状を授与されました！

～旭区ボランティア・市民活動センター～

ボランティア活動の斡旋や広報活動を推進するため、既存の組織である「ボランティアビューロー」から「旭区ボランティア・市民活動センター」に改称したことを祝して7月2日、同センターの活動拠点である旭区在宅サービスセンターでオープニングセレモニーが挙行されました。

主催の旭区社会福祉協議会池田会長の挨拶、来賓の東地旭区副区長の挨拶に続き、施設の一部を改修した本学建築文化研究部が池田会長より、感謝状を授与されました。同部からは部長、副部長のほか部員4名が出席し、感謝状を授与された同部部長の松井龍一君(A3)から「改修の依頼を受けた当初はとて不安を抱いていました。しかし、貴会関係者の協力と工務店の支援により無事納期までに竣工することができました。本当

にありがとうございました。」と謝辞を述べました。

セレモニーでは、ウインドアンサンブルとマンドリン部による演奏で同部の活躍に花を添えました。そのほか、他のフロアでは応用化学研究部によるスライム作り体験、ジャグリングクラブによるパフォーマンス、母国の文化などを発表する留学生による異文化交流展示コーナーが披露され、終始イベントを盛り上げてくれました。



感謝状を授与され、謝辞を述べる松井君(A3)



改修作業にご協力いただいた猪谷(工務店)様と記念撮影

枚方キャンパスラグビー場「天然芝」プロジェクト!!

7月2日～3日の2日間、枚方キャンパスラグビー場を「天然芝」に改良するために、ラグビー部を中心に大阪工業大学体育会課外活動団体と常翔学園高校、常翔啓光学園高校のラグビー部員、ラグビースクールの子供たちにも協力頂き、天然芝の苗植えを行いました。外部機関の指導のもと、50cm間隔に置かれたポイントにポット苗を植えることで、均等な天然芝のグラウンドを完成させることができます！

クラブ員たちは、慣れない作業のなか、一つずつ丁寧に苗を植えていき、グラウンド全体の苗植えを完成することができました。ここからは、こまめな散水と芝刈りを繰り返すことで、約2ヶ月後には青々とした芝生が広がるグラウンドが完成する予定です。

ラグビー部主将の草別圭祐君(D4)は、「慣れない作業でしたが、素晴らしい天然芝グラウンドで、ラグビーができることに感謝して、Bリーグ昇格の目標に向かって頑張ります。」と意気込みを語ってくれました！

完成した新枚方ラグビー場は、ラグビー部を初めとする様々なクラブが活用し、ますますの活躍が期待できます。



ご案内

「学生の社会的責任を強化するための啓発講演会」を実施します！

開催日時 2016年7月26日(火) 16:50～18:20

大宮キャンパス 121教室(1号館2階)

大学生が事件やトラブルに巻き込まれる大きなものに、「薬物」、「SNSによる被害」、「カルト教団入信」があります。これら大学生を取り巻く3つの危険に加え、自転車の利用による交通安全(7月1日施行自転車保険加入の義務化を含む)について、正しい知識と理解を深めるために「学生の社会的責任を強化するための啓発講演会」を開催します。皆さんの参加をお待ちしています。

「鳥人間コンテスト2016」に出場決定!! 開催日時 2016年7月31日(日)

7月31日に琵琶湖(彦根市松原水泳場)で開催される「鳥人間コンテスト2016」(主催:読売テレビ)に本学の「人力飛行機プロジェクト」チームが、5年連続となる今年も参戦することになりました。ぜひ応援よろしくお願いします！



大宮キャンパス城北祭

開催日時 2016年10月21日(金)～23日(日)

城北祭実行委員会HP→ <http://shirokitapost.wix.com/sirokitasai>
(最新情報は城北祭実行委員会のホームページにて随時更新していきます。今年もどうぞご期待ください！)

枚方キャンパス北山祭

開催日時 2016年11月3日(木)文化の日

北山祭実行委員会HP→ <http://oitkitayamasai.net/>
年に一度の大イベント!!今年もステージイベントでは、吉本お笑い芸人がやってきます。私たちの「北山祭」に皆様のご来場を心よりお待ちしております。

新入生歓迎イベントを開催しました！

新入生歓迎フェスティバル

大宮キャンパス

4月1日、2日、4日の3日間にかけて、大宮キャンパス東中庭において城北祭実行委員会・文化会本部・体育会本部が主催した「新入生歓迎フェスティバル」が開催されました。

このイベントは文化会・体育会・プロジェクト団体等が10号館前人工芝や東中庭にブースを設け、新入生からクラブの質問や相談を受け付けるとともに、各クラブの活動内容と魅力を新入生にPRする恒例イベントです。ステージとピロティでは音楽系クラブの演奏やストリートダンス部のパフォーマンスが披露され、新入生を魅了しました。

先輩学生の熱心な勧誘に新入生も引き込まれ、たくさんの初々しい新入生が興味を持って質問をぶつける姿が見受けられました。新入生にはぜひ、クラブ・プロジェクト団体に加入し、充実した大学生活を送ることができるよう願っています。



説明を興味津々に聞く新入生たち

大盛況の新入生歓迎会イベント

「桜春祭」を開催!6月には「球技祭」も

枚方キャンパス

枚方キャンパスで活動している課外活動団体を、新入生に紹介するイベント「桜春祭」が、4月6日、13日に開催されました。エントランスホールに各団体のブースを設置し、一堂に集結しました。新入生参加型のブースやパフォーマンス披露など、今年も大いに盛り上がりました。

また、6月18日には球技祭が開催され、学生のはつらつとした姿が見受けられました。

今後の枚方キャンパスのさらなる飛躍に期待です。



新入生勧誘で賑わうエントランス



熱戦を繰り広げた球技祭

常翔学園3大学 体育会課外活動団体交流戦を実施!

6月11日～12日、常翔学園グループに所属する体育会系課外活動団体が一堂に会し、総勢44団体、2日間で延べ1,439人(大阪工業大学19団体、摂南大学22団体、広島国際大学3団体[*各大学体育会本部および役員含む])の学生・教職員が参加しました。

初日に大宮キャンパス総合体育館アリーナで開会式・懇親会を行い、2日目は、各競技に分かれて合同練習や試合を実施しました。

懇親会では3大学の学生が交流を深め、各大学の体育会本部長が交流戦に対する意気込みの発表を行い、ステージではストリートダンス部がダンスパフォーマンスを行うなど、会場を大いに盛り上げてくれました。

2日目の交流戦では、各会場で日頃の練習の成果を発揮する試合や合同練習を実施する競技もあり、3大学の各団体が各々の方法で交流を深めました。各大学の全団体が参加して行うエキシビジョンでは大学対抗リレーを行い、見事優勝した大阪工業大学にはトロフィーが授与されるなど、非常に充実した2日間でした。



Club pick up!

豪華指導陣のもと、狙うは12年ぶりの全日本学生剣道優勝大会出場!!

創部55年を迎える体育会剣道部は、本学の武道系クラブの中でも随一の伝統を誇るクラブです。4月に新入部員5人を加えて、総勢10人(男子9人・女子1人)日々道場で稽古に励んでいます。現在は、師範の森文男氏(教士八段)、監督の川辺雅之氏(教士七段)、コーチの西川和樹氏(錬士六段)の指導を仰ぎ、剣道部卒業生には剣道最高位「範士」の上垣功氏を筆頭に七段、六段の高段者が多数おられるレベルの高い剣道に触れることによって現役部員は心技体のレベルアップを目指します。

8月には剣豪の道で有名な柳生の里での夏合宿を予定しており、主将の坂田大樹君(IS4)は、「全日本学生剣道優勝大会出場目指し、精一杯頑張ります!」と意気込み十分!

狙うは、10月に開催される「全日本学生剣道優勝大会」出場!!今後の剣道部の活躍に、乞うご期待ください!



外国人留学生歓迎会を開催！

4月27日、大宮キャンパスにて2016年度外国人留学生歓迎会が開催されました。

中国やインドネシアなどから来日した新入生たちは、積極的に先輩留学生や大学教員と交流を深め、期待に満ちた大学生活に臨もうとする姿勢を見せました。本学留学生友好会会長の陳 豪陽君(D3)は在学留学生を代表し、「これからの大学生活は、より多くの出会いをとおして自分の可能性を広げ、共に有意義な大学生活をつくっていきましょう。」と新入生たちに激励と歓迎の言葉を贈りました。

また、国際友好部とE.S.S.による日本や大阪工業大学に関連するクイズ大会や文化会茶道部による茶会も開催され、日本の文化についても学ぶことができ、大変有意義な場になりました。



実り多い大学生活になることを祈念しています。

地域クリーンキャンペーンに参加しよう！

本学では地域貢献を目的に全学を挙げて大学周辺地域の清掃ボランティア活動「地域クリーンキャンペーン」に取り組んでいます。参加者にはポイントカードを渡し、ポイントを達成した人にアチーブメントシートも発行しています。みんなで協力して清掃活動を行い、心地よい町づくり活動に貢献してみませんか？

皆さんの積極的な参加をお待ちしています。



日時 毎週月曜日～金曜日(授業期間のみ)
【大宮】①12:40～13:10 ②16:40～17:10
【枚方】9:00～17:00の自由な時間で30分間

参加方法 大宮キャンパスの方は、参加日を事前に学生課で予約ください。
清掃グッズは大宮は学生課、枚方は情報科学部事務室に用意してありますので手ぶらでOK♪

その他 8回参加→アチーブメントシート1枚発行

アチーブメントシートって何？！

行事に参加・協力して大学や地域に貢献した学生に対して本学から発行されるボランティア活動証明書です。このシートの取得は就職活動でエントリーシートに記入するなど自己PRに活用できます。また、一定枚数以上取得した人には学長表彰(善行賞)の対象になります。

ウェルフェアニュース WelfareNews

「レストラン白馬」

皆さん、8号館5階にレストランがあることをご存知ですか？

中央食堂とは一味違った特色のある定食などをフルサービスにて提供しています。図書館で自習の後、いつもと違った環境で食事をしたり、ちょっと一息入れるためにコーヒーを飲んだり、様々なシーンに合わせて皆様のご利用をお待ちしています。

レストラン白馬一押しメニューは【チキングリルステーキ】です。熱々の鉄板に乗せたジューシーなチキンは食べ応えがあり、一度食べたならまた食べたくなるメニューです。その他、定番のエビフライ定食やイタリアンオムライス、ゆずから定食が人気です。

皆さんのお越しをスタッフ一同お待ちしております。

チキングリルステーキ

営業時間 平日11:00～14:00
(オーダーストップ13:30)

エビフライ定食

ゆずから定食



工大流就職支援②⑥

～就職NEWS～

リクルートワークス研究所によると今年度の大卒求人倍率は、昨年度の1.73倍からほぼ横ばいの1.74倍でした。引き続き就職活動の環境は、いわゆる「売り手市場」である反面、大卒求人倍率が0.01の伸びにとどまり、そろそろ頭打ちになりそうな気配もあります。

昨年度、一般財団法人日本経済団体連合会の「採用選考に関する指針」が改定され、採用選考活動の開始時期が卒業・修了年度の4月から8月に変更となりましたが、今年度、更に8月から6月に変更になりました。これに伴い、本学の5月末の内定率は、昨年度と比べて全体で9.4ポイントアップし、早期に企業が採用活動を実施していることが伺えます。就職課としても学生に対して、早めに活動するよう呼びかけ、5月に学内合同企業説明会を実施した結果、延べ734人(昨年度687人)が参加しました。これを機に、着実に内定に結びつけてもらいたいものです。皆さん、これからは猛暑日も多くなりますので、しっかりと朝食をとって、健康に留意して頑張ってください。

「お>よど」に関するアンケート結果のご報告

昨年度実施した「お>よど」に関するアンケートでは、本誌のイメージ、掲載内容については概ね「読みやすい」との評価ではありましたが、「詰め込みすぎている」「文字が多い」「堅苦しい」などの意見がありました。今回皆さんからいただいたご意見を反映し、「お>よど」のレイアウトを全面リニューアルしました。今後も皆さんの活躍や情報を集め、より興味の持てる「お>よど」になるよう努めていきます。

アンケートにご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。